

☆7世紀後半から8世紀初頭にかけての天武・持統朝を中心とする文化 [図表P.61]

1. 官立の大寺院（官大寺）の建立 [図表P.61]

- 藤原京の四大寺
 - 大官大寺…百濟大寺、高市大寺ともいい、平城京遷都後は大安寺と称す。
 - 1 _____ …天武天皇が皇后(持統)の病氣平癒を祈って発願し、藤原京で完成。
 - 飛鳥寺(法興寺)…平城京に移築されたのち「元興寺」と称する。
 - 川原寺(弘福寺)…斉明天皇の宮跡という。平城京に移されず、衰えた。

【白鳳寺院建築の代表】

*2 _____ …各階に3 _____ のついた三重塔。美術研究家フェノロサによって「4 _____ 」とよばれ、賞賛された。

2. 仏像 [図表P.62] ~飛鳥仏では感じられなかった豊かな量感と写実性を特徴とする

*5 _____ 金堂薬師三尊像…薬師如来と脇侍の日光・月光菩薩からなる金銅像。微妙に変化した姿勢にみられる柔らかな肉体表現の美しさは他に比べられるものがない。

*6 _____ …頭部のみしか現存しないが、童顔で豊か・柔和な表情は白鳳仏の典型。もともとは7 _____ 寺 [図表P.59右上] の本尊であったという。

*薬師寺東院堂聖観音像…薬師三尊像とならぶ白鳳仏の傑作。

*法隆寺夢違観音像…悪夢を見たときに祈ればよい夢に変えてくれるという伝説がある。



3. 壁画 [図表P.63]

*8 _____ …薬師・釈迦・阿弥陀・弥勒の4浄土を大壁に描く。1949年焼損。この壁画の焼損をきっかけに1950年、9 _____ が制定された。ガンダーラ美術の影響が強く、インド・アジャンター石窟群の壁画に類似。

*10 _____ …1972年、奈良県明日香村で発見された古墳の壁画。四方に青龍・白虎・朱雀・玄武の4神と男女群像が描かれる。

4. 歌謡

①漢詩文 大津皇子など→奈良時代の詩集『11 _____ 』に収録

②和歌 柿本人麻呂、額田王、天智天皇、天武天皇、持統天皇など →奈良時代の歌集『12 _____ 』に収録

病氣が治ることと、破ること、目的が手前や本尊は連想ができてしまう。

一般的にはこのように、白鳳の仏像は近年、72/10/11のころに言われたのはかなり軽かしくは、というように。

図表P62の仏像と、図表P54~55の仏像を見比べてみると、白鳳の仏像は、肉感、筋肉感、あるいは腰のくさり感が違うように感じられる。白鳳仏の特色です。

得意な仏像と文化ごとに1つ1つつくることが、白鳳の仏像と以前書いた気がしますが、白鳳文化の仏像のひとは、このように、頭部しか残っていないのに国宝。図表P.62の説明文も読んでおきましょう。

図表P63の縦に上下に配置したこのイメージの白鳳を代表する2つの壁画をおさえておきましょう。六部先生から聞いている文化財保護法とあらためて、思い出してみよう。図表P326図。